

RNA2013 Matsuyama

第 15 回日本 RNA 学会年会
(15th RNA meeting in Matsuyama)

2013 年 7 月 24 日(水)～26 日(金)

愛媛県民文化会館・ひめぎんホール

松山市道後

第 15 回日本 RNA 学会年会(15th RNA meeting in Matsuyama)

【会 期】 2013 年 7 月 24 日(水)～26 日(金)

【会 場】 愛媛県民文化会館・ひめぎんホール
〒790-0843
愛媛県松山市道後 2-5-1
TEL : 089-923-5111 FAX : 089-923-5112

【主 催】 日本 RNA 学会

【参加費】 日本 RNA 学会会員 一般： 12,000 円 学生：4,000 円
日本 RNA 学会非会員 一般： 17,000 円 学生：6,000 円
※ 当日参加登録は 2,000 円加算されます。

【総 会】 2013 年 7 月 25 日(木) 17:50-18:50
会 場： 愛媛県民文化会館・ひめぎんホール
※ ご欠席の場合は、事前に委任状を事務局まで提出ください。

【懇親会】 2013 年 7 月 25 日(木) 19:30～21:30
会 場： 松山全日空ホテル エメラルド
会 費： 一般 6,000 円 学生 3,000 円

【企業展示】 日 時： 2012 年 7 月 24 日(水)10：00～26 日(金)13：00

会 場： ひめぎんホール

***** 出 展 企 業 (5 0 音 順) *****

株式会社 医学生物学研究所

神戸天然物化学株式会社

株式会社 ジーンデザイン

シスメックス株式会社

和光純薬工業株式会社

【プログラム委員兼ポスター賞審査委員(50 音順,敬称略)】

浅井 潔 (東京大学)

浅原弘嗣 (東京医科歯科大学)

井川善也 (九州大学)

稲田利文 (東北大学)

井上邦夫 (神戸大学)

今高寛晃 (兵庫県立大学)

入江賢児 (筑波大学)

影山裕二 (神戸大学)

河合剛太 (千葉工大)

黒柳秀人 (東京医科歯科大学)

剣持直哉 (宮崎大学)

齋藤博英 (京都大学)

佐渡 敬 (九州大学)

塩見美喜子 (慶応大学)

鈴木 勉 (東京大学)

清尾康志 (東京工業大学)

谷 時雄 (熊本大学)

泊 幸秀 (東京大学)

富田野乃 (東京大学)

富田耕造 (産業技術総合研究所)

内藤 哲 (北海道大学)

中川真一 (理化学研究所)

姫野俵太 (弘前大学)

廣瀬哲郎 (産業技術総合研究所)

藤原俊伸 (神戸大学)

星野真一 (名古屋市立大学)

宮川さとみ (大阪大学)

山下暁朗 (横浜市立大学)

吉久 徹 (名古屋大学)

【世話人】

第 15 回日本 RNA 学会年会

世話人代表・年会長：堀 弘幸 (愛媛大学大学院理工学研究科)

世話人：高井和幸 (愛媛大学大学院理工学研究科)

平田 章 (愛媛大学大学院理工学研究科)

富川千恵 (愛媛大学大学院理工学研究科)

小川敦司 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター)

【連絡先】

第 15 回日本 RNA 学会年会事務局

〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3

愛媛大学・大学院理工学研究科・物質生命工学専攻・応用化学コース

年会長 堀 弘幸

TEL： 089-927-8548

RNA2013 Matsuyama ホームページ:

<http://www.rnaj.org/RNA2013/>

年会専用メールアドレス： rna2013@rnaj.org

日 程 表

7/24(水) 7/25(木) 7/26(金)				
8:30	参加登録受付 8:30-17:00 ポスター貼付 8:30-11:30 企業展示 10:00-17:00	参加登録受付 8:30-17:00 企業展示 10:00-17:00	参加登録受付 8:30-17:00 企業展示 10:00-13:00	8:30
	開会の挨拶 8:50-9:00	Session. 4		
9:00	Session. 1	8:50-10:10	Session. 6	9:00
	9:00-10:35	「RNA 成熟 II」	9:00-11:20	
10:00	「小さな RNA」	Session. 5 10:25-11:00	「核内で働く RNA と核内構造体」	10:00
	Session. 2	「in silico RNA 研究」		
11:00	10:50-12:10	RNA 海外若手ワークショップ	Session. 7 11:20-12:10	11:00
	「RNA 成熟 I」	11:00-12:20	「RNA テクノロジーと合成生物学」	
12:00				12:00
	ランチョンセミナー	昼食 12 : 20-13 : 20	昼食 12 : 10-13 : 10	
13:00	昼食 12:25-13:25		(企業展示搬出 13 : 00~)	13:00
	ポスターセッション (1)	ポスターセッション (2)	Session. 7 13:10-13:40	
14:00	13:25-14:55	13:20-14:50	Session. 8	14:00
	奇数番号発表	偶数番号発表	13:40-15:30	
15:00	シンポジウム 1	シンポジウム 2	「高次生命現象と RNA」	15:00
	14:55-17:25	14:50-16:55	Session. 9	
16:00	『Chemistry of RNA I』	『Chemistry of RNA II』	15:45-17:35	16:00
			「翻訳 II」	
17:00		青葉賞受賞者講演・表彰式		17:00
		17:10-17:50	閉会挨拶 17 : 35-17 : 45	
18:00	Session. 3	日本 RNA 学会総会		18:00
	17:40-19:45	17:50-18:50		
19:00	「翻訳 I」	懇親会		19:00
		19:30-21:30		
20:00		松山全日空ホテル		20:00
21:00				21:00
22:00				22:00

～ 男女共同参画ランチョンセミナーのご案内 ～

「男女共同参画」というと「女性もPIをめざそう」「女性PIを増やすために」ということがテーマとして取り上げられることが多いと思いますが、単純に女性PIの数を増やせばよいのでしょうか。女性に限らず、研究者はある程度の年齢・業績を積み重ねたらPIを目指すべき、と考えると、「女性PIを増やそう」といったテーマを掲げるのは、男性にとっては「逆差別だ」と感じることでしょう。それでは、なぜ女性PIが必要なのでしょう。男女同権、男女共同参画だから、女性教員の割合を数の上で合わせればそれでよいのでしょうか。

今回の男女共同参画ランチョンセミナーでは、「女性がPIになる意味」ということを男女の考え方の違い、という視点で考えてみようと思い企画しました。きっかけは今回お話をいただく大杉さんとの会話の中から生まれました。以前、大杉さんと震災後の話をしていたときに、「大阪にいて震災は直接関係ないのに、すごく心が苦しくて研究費をこのまま使い続けていいのだろうか、自分の研究費を減らしてもらってもいいと思っていた」という話をしたところ、「女性研究者は同じような気持ちを持っている方が多かった。でも男性は違った。もらったものは使っていい、というスタンスの人が多かった」と。私もいろいろな方と話をし、その違いを感じていたところでしたので、やっぱりそうだったのか、男女の考え方はこんなにも違うのか、と納得したことがあったのです。

これは一つの例ですが、男性と女性とでは本質的に考え方が違う。だからこそ、組織を動かす中枢に女性も入らなければいけない。そうしないと片寄った方向に組織が進んでしまうのではないかと。女性がPIになることによって、男性とは違った視点からの意見を発信する機会ができる、またその必要がある。つまり、単に女性教員を増やすとか女性研究者の数を増やすことではなくて、「大きな組織の意思決定機関に女性が入り意見を述べる必要がある」というのが、女性がPIになる意味、と考えてみてはどうでしょうか。実はこのようなことが、男女共同参画の本質なのではないかと思うのです。

PIになることを躊躇している女性研究者の方も、男女共同参画って言われてもそれが何なん？と思っている男性研究者の方も、これからのサイエンスを担っていく大学院生や若い研究者の方も、ぜひランチョンセミナーにご参加いただき、男女共同参画の本質に迫りましょう！

男女共同参画ランチョンセミナー

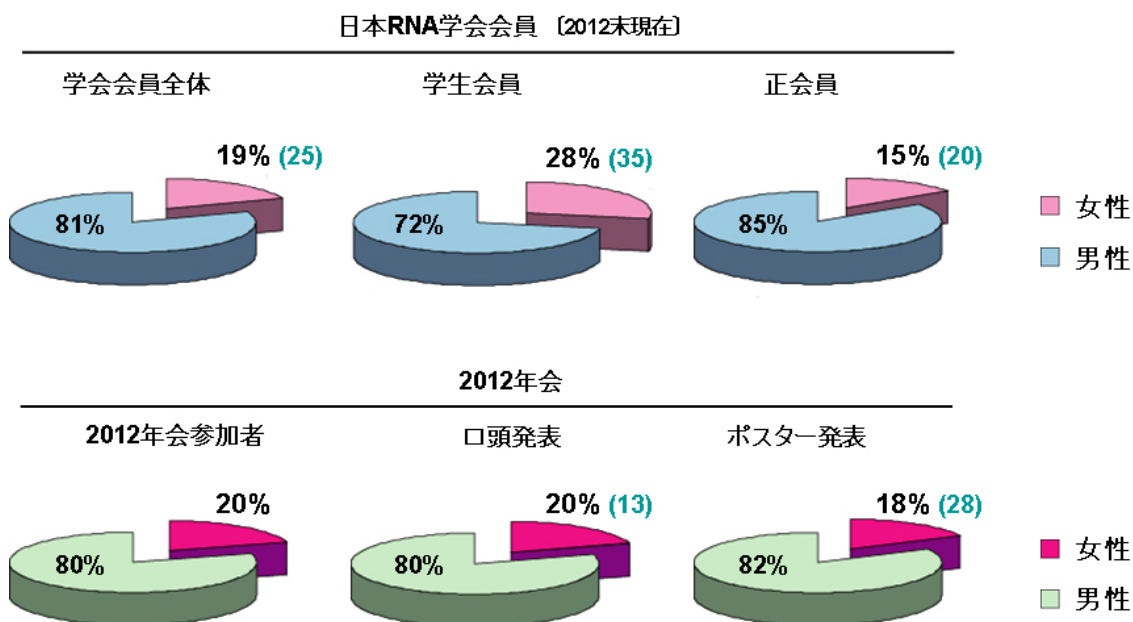
<http://www.rnaj.org/RNA2013/program.html>

2013年7月24日（水）12:00～13:00

講演：大杉美穂 先生（東京大学、文部科学省学術調査官）

～ 日本 RNA 学会の現状 ～

とはいうものの、日本 RNA 学会における現状把握も必要ということで、2012 年度の会員、および大会参加者や発表者の女性の割合を算出しました。



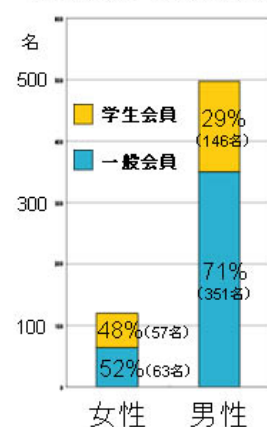
%は女性の割合。()は日本分子生物学会における女性の割合

会員全体の約 2 割が女性会員で、これは分子生物学会と比較すると（会員が 600 名ほどの RNA 学会と 15,000 名以上の分子生物学会を単純に比較することはできませんが）全体では 6%ほど女性の割合は低く、特に学生会員の割合が低いといえます。年会参加者における女性の割合や発表者における女性の割合は、全体の会員の比とほぼ同じであることから、男女とも一定の割合で年会に参加しているといえます。（上図）

また、女性会員の中での（学生会員：正会員）の割合は（1：1.1）で（右図）、この比は分子生物学会とほとんど同じであり、研究の分野に学生が残らない、あるいは一定の割合で女性の一般会員は辞めてしまうという傾向はどちらも同じであるといえます。女性は、出産や育児、介護など、ライフイベントに大きく左右されやすく、研究を続けることを途中で断念することが男性よりはるかに多いためと考えられます。男女共同参画を単純に女性の割合で論じるべきではありませんが、女性が男性とは違った視点から意見を発信していくためには、「数」も必要であることは言うまでもありません。女性の方がより多く途中で研究をあきらめて、結果的に女性の割合が少ないとすれば、それは残念なことです。

（男女共同参画担当幹事：宮川さとみ）

学生会員と一般会員の割合



発 表 者 へ の ご 案 内

【口頭発表】

本年度の発表時間は次の通りです。

一般演題：発表12分／質疑応答2.5分／予備0.5分 合計15分間

発表終了時、質疑応答終了時にベルで合図を致します。

タイトなスケジュールですので、時間厳守をお願いします。

また、ご自分の発表の一つ前になったら、必ず次演者席にお越し下さい。

＜ご発表に際しまして＞

事務局で用意するPCでのご発表となります。

USBフラッシュメモリーもしくはCD-Rにてデータをお持ちいただき、事務局で用意しているPCにコピーしてご使用いただきます。OSやソフト環境によって、フォントや図が適切に表示されない、動画が使用できないなどの不具合の発生が見込まれる場合はご自身のPCをお持ち込み下さい。事務局で準備するPCの動作環境は以下の通りとなります。

Macintosh： Mac OS X ver.10.7.5, PowerPoint for Mac 2008

MacBook Mac OS X ver.10.8.4, PowerPoint for Mac 2011

Windows： Windows Vista

Microsoft Office PowerPoint 2007

＜発表受付及び試写＞

発表受付は会場内のオペレーター席にて行います。受付時間は次の通りです。

発表データまたはご自身のPCをお持ちの上、**ホール内PCオペレーター席**(スクリーン近く)までお越し下さい。スタッフと共に接続と試写の確認をお願い致します。

※できるだけ、余裕をもって受付・試写確認をお願いいたします。特に24日と25日の午前中のセッションの発表の方は、前日の夕方にも試写を受け付けますので、お時間がありましたら、できる限り早めの試写をお願い致します。

発表受付および試写時間

	23日(火)	24日(水)		25日(木)		26日(金)	
	16:00-18:00	8:20-8:50	13:25-14:00	8:20-8:50	13:20-14:00	8:20-9:00	12:10-13:00
Session.1, 2							
シンポジウム1							
Session.3							
Session.4, 5							
海外若手ワーク ショップ							
シンポジウム2							
青葉賞受賞講演							
Session.6, 7							
Session.8, 9							

<注意事項>

[USBフラッシュメモリーもしくはCD-Rでお持ち込みの方]

- 1) パケットライティングで記録されたCD-Rのデータは、読み込みができない場合がございますのでご注意ください。
- 2) ファイル名はローマ字で「演題番号-演者名.ppt」として下さい。
(例) O1-suzuki.ppt (pptx)

[ご自身のPCをご使用の方]

- 1) やむを得ずご自身のPCをご利用の際は、**バックアップデータ(USBフラッシュメモリー・CD-R)を必ずご用意下さい。**ファイル名はローマ字で「セッション番号-演者名.ppt」として下さい。(例) O1-suzuki.ppt (pptx)
- 2) 会場の液晶プロジェクターのスクリーン上で、写真や図が開かない等、不具合を避けるため、フォントやファイルの保存方法等にご注意下さい。
- 3) 画面接続は、D-sub15ピンのコネクタ(一般的なモニタ端子)です。ご自身のパソコンの映像出力端子がこれと異なる場合は、接続アダプターをご自身でご用意下さい。
- 4) **予め、スクリーンセーバー、省電力設定を解除しておいて下さい。**
- 5) 試写終了後、またはセッション前の休憩時間に接続準備を行いますため、ご使用のPCを一時お預かりさせていただきます。セッション終了後にPCのお受け

取りをお願い致します。

【ポスター発表】

1. パネルの掲示サイズは120 cm（横）×180 cm（縦）です。パネルには左上に20cm×20cm サイズの番号が貼ってありますので、所定のパネルにお貼り下さい。
2. ポスターの形式は特に定めませんが、上部にタイトル、発表者名、所属（和文と英文）を提示して下さい。
3. 発表者はポスター会場前受付にお越し下さい。その際に、押しピン、発表時用リボンをお受け取り下さい。
4. ポスターの貼付および撤去時間は次の通りです。
ポスター貼付：
7月24日（水） 8:30-11:30
ポスター撤去：
7月26日（金） 12:00-13:00
5. 発表時間は下記の通り2 回です。
ポスターセッション（1）奇数番号発表：7月24日（火） 13:25-14:55
ポスターセッション（2）偶数番号発表：7月25日（水） 13:20-14:50
6. 発表時間中、発表者はリボンを付けて、ポスターの前で説明・討論を行って下さい。

